

作成例

□ = 文字サイズ

< 例 1 : 表題紙 >

14ポイント → 2000年度 (4行目)

中部学院大学大学院人間福祉学研究所 (7行目)

人間福祉学専攻 修士学位申請論文 (10行目)

主題 : 24ポイント ↓

地域福祉とコミュニティのあり方についての一考察
～ S 県における実態調査から～ (13 ~ 18行目)

副題 : 20ポイント ↗

12ポイント → 2014年12月 (27行目)

20ポイント → 学籍番号 : 1401109 (30行目)

氏名 : 中部 太郎 (32行目)

16ポイント ↓ 指導教員 : 学院 花子教授 (35行目)

< 例 2 : 目次 >

目次	12ポイント	← センタリング、後1行をあける
抄録	10.5ポイント	i ← 後1行あける
序文	10.5ポイント	1 ← 後1行あける
第1章 地域福祉とコミュニティのあり方	10.5ポイント	5
第1節 地域福祉の持つ課題	10.5ポイント	5
第2節 福祉施設との連携	10.5ポイント	10

< 例 3 : 本文 >

第1章 地域福祉とコミュニティのあり方 14ポイント

←章 (中央に太字で。頁を改め後1行をあける)

第1節 地域福祉の持つ課題 12ポイント

←節 (太字で。前1行をあける)

1 地域福祉の醸成の過程と要素 10.5ポイント

←項 (太字で。)

2

3

< 例 4 : 参考文献 >

- ・ 大江 基・加瀬昭彦・高橋真美子 (1991) 「ニューヨーク・ファウンテン・ハウスの活動・2」『精神障害と社会復帰』 Vol11 No1
p 88 - 95
- ・ 大塚佳子・鳩野洋子・西田茂樹 (2000) 「精神障害者の食生活について」『第59回 日本公衆衛生学会総会抄録集』 p 224
- ・ 大島貞夫 (1991) 「精神障害者に対するコミュニティケアー諸外国の実情を通してー」『明治学院論業 社会学・社会福祉学研究』 86
p 61 - 80
- ・ 大島貞夫 (1993) 「ファウンテンハウスと精神障害者の社会復帰」『明治学院論業 社会学・社会福祉学研究』 91 p 57-67 9ポイント

